

情報公開文面

京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センターで撮像された画像データを、研究に提供させていただくことにあたっての情報公開について

対象研究名： 7T MRI 装置を用いた神経変性疾患の病態解明

対象者の選択基準

京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センターにおいて、7 テスラ MRI を用いた研究 承認番号 C1143 研究課題名「7T-MRI 装置による臨床応用に向けた高度計測基盤技術の開発」にご参加いただいた方。

研究目的・方法の概要

MRI は世界中で医療に貢献し、より正確な病態評価や診断に用いられてきました。その成果は磁場強度の増加とともに発展し、現在は3 テスラ装置が MRI 診療の主軸となっていますが、7 テスラ MRI 装置が次世代の診療を担う装置として、現在世界中で研究が行われつつあります。

アルツハイマー病やパーキンソン病で生じる神経変性疾患の病態に関しましても、従来よりも高精細に検出をすることが望まれ、医療の質の向上に寄与する知見が得られることが期待されています。さらに、このような神経変性疾患に限らず、これまで同定されていなかった緻密な脳構造が正常構造として認められるようになり、健常者の方々の撮影においても病態研究の礎となる知見が得られることが期待されています。

今回、2016 年 3 月 4 日から 2019 年 1 月 18 日までの間に京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センターにおいて、7 テスラ MRI を用いた研究 承認番号 C1143 研究課題名「7T-MRI 装置による臨床応用に向けた高度計測基盤技術の開発」にご参加いただき患者さんや健常者の方々の MRI データを、疾患に伴う脳内の構造変化や、信号値の変化を細かく解析する手法を用いて病態解明研究を推進する研究のため役立てたいと考えております。この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。

研究期間

2018 年 12 月 12 日より 2028 年 12 月 11 日までの予定です。

個人情報の取り扱いに関して

研究対象者情報は匿名化します。研究成果を学会や論文で発表する際にも、完全に匿名化します。匿名化を条件に、研究期間終了後も研究期間終了後も 10 年間データを保存し、学術研究に活用します。

利益相反に関して

本研究は運営費交付金および国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略的国際脳科学研究推進プログラム「先進的 MRI 技術に基づく総合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明」と共同して行います。これら資金の提供者は、研究の企画、運営とデータの管理・解析には関与致しません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究に関して、問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学脳神経内科ホームページ内に掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいた上で、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応いたします。

研究機関名・責任者および情報管理責任者

京都大学医学研究科 人間健康科学系専攻 澤本伸克

問い合わせ等の窓口

本研究課題の相談窓口：京都大学医学研究科臨床神経学（脳神経内科） 島淳 澤本伸克（人間健康科学系専攻）

（tel） 075-751-3111

京都大学の相談窓口：京都大学医学部附属病院 相談支援センター（Tel）075-751-4748（E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp